

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 12日

事業所名

リハルキッズ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2 職員の配置数は適切である	7			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・継続して定期的な研修会の実施や各専門分野からのアドハイス、情報の提供等を行いながら、スタッフ全体の知識を深め、療育へ反映していきたいと思ます。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11 子どもへの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			
	16 子どもへの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7			
適切な支援の提供					

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・それぞれの視点で分析し、全体で共有出来ています。 ・送迎等で得た情報も共有出来ると思います。	・利用児の状況や対応、療育内容、目的等に関して、情報の共有を行いながら、利用児や保護者様へのより良い支援へと繋げていきたい。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもたちの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			・保育所、幼稚園、こども園との情報共有を更に行いながら、同じ支援が行えるような環境をもっと広げられるよう努めて参りたいと思います。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	2	・異年齢のお友だち等、様々なお友だちと関わる機会が出来ていると思います。	
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	1		
30	日頃から子どもたちの状況を保護者と伝え合い、子どもたちの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7			・継続して保護者様の不安や困り感、疑問等に関してやり取りを行いながら、家庭や家族での関わり方等へ繋げていけるよう支援していきたいと思ひます。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	7			
	35	2	4		・感染予防に考慮しながら、更に保護者同士の関わりや繋がりを持つよう、必要に応じて連携を取れる場を設けていきたい。
	36	7			
	37	5	2	・活動予定表やホームページ等を用いて発信しています。	・今後も活動内容の報告やブログ等を通して、保護者様が見える、知り得る場を作っていきたいと思います。
	38	7			
	39	7			
	40	1	6		・感染対策も回りながら、地域との関わりを更に増やしていきたいと思います。
	41	7			
	42	7			
	43	7			
	44	7			
	45	7			
	46	7			
	47	7			
非常時等の対応					

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。